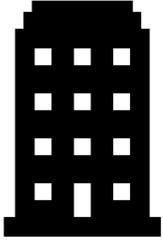




7. 株式の売り買い【株式売買】について

株式を手に入れるには

POINT



株式を手に入れる方法は、2つあります。

1つ目は、

「うちの会社に出資してください!」という

会社に対してお金を投資して、その引き換えに株式を手に入れる方法。

2つ目は、

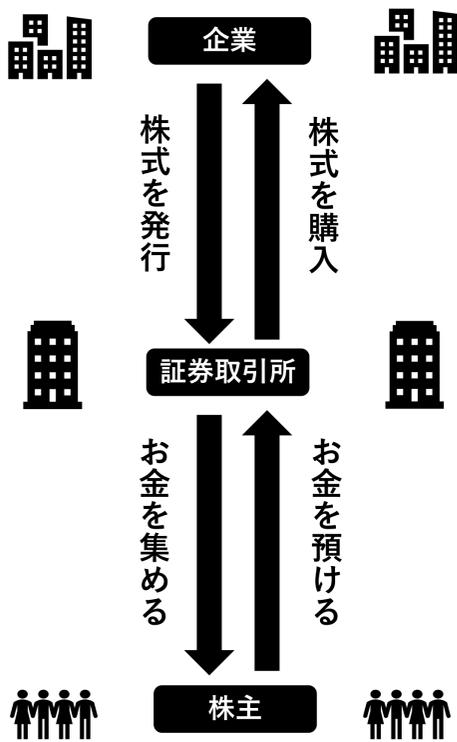
すでに株式を持っている人から買う方法。

大抵はこちらの方法で手に入れています。

株式を買った人はそのときから、その会社の株主の1人になれます。

そして、その会社が利益を出せば、配当を受け取ることが出来たりするわけです。

株を買い売りする場所



株式を買った会社が倒産したら困りますよね。

また、買った株式を気軽に売れるようなシステムがないと、急に「株式をお金に替えたい」と思ったときに不便ですよね。

そこで、「成績表をきちんと発表している会社の株式だけを自由に売り買いできる場所」があると安心ですね。

一方、企業としては、できるだけたくさんの方が、自分の会社の株式を買ってくれたほうがいいわけです。

「株式をほしい」という人が多ければ多いほど、また新たに株式を発行して、たくさんのお金が集めやすくなるからです。

そこで考え出されたのが、「証券取引所」というものなのです。

証券取引所と証券会社

証券取引所は、株式を売り買いする場所のことです。

そこでは、一定の資格を持った「証券会社」を通じて株式が集中的にいつも売買されています。

証券会社の役割は、僕たちに代わって株式売買注文をすることです。

株式の取引は法律で厳しいルールが課せられています。

僕たち一般人が直接証券取引所に行って、売買の交渉をすることはできません。

証券会社がルールに基づいて、投資家と証券取引所の仲介役となって、株式の売買をしているのです。

証券会社に「任天堂の株式を買いたい」や「トヨタの株式を売りたい」という注文を出せば、全国どこからでも、気軽に株式が売り買いできるようになっています。

証券取引所で売買されている株式は、「成績表を発表している会社の株式」です。

僕たちは、その企業の経営状態が好調なのか、不調なのか、比較的簡単に調べることができます。

魔弾の結論

証券取引所の役目

- 株式を集中的に売り買いする専門の場所として存在している。
- 取引を集中することでいつでも適正な価格で売り買いをすることが可能である。

